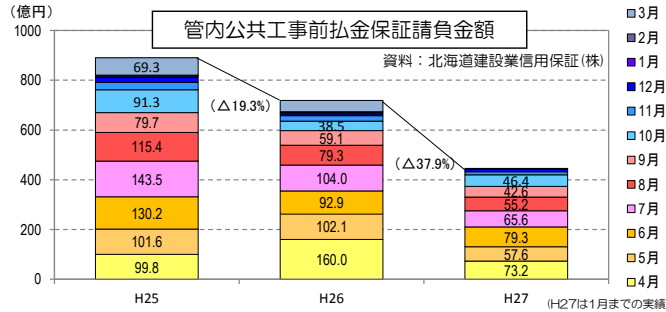


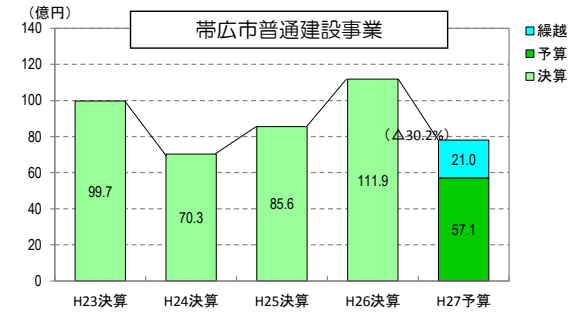


## 地域経済の状況



＜日本銀行帯広事務所「十勝の金融経済概況」平成27年12月8日＞  
 ◇十勝の景気は、基調としては着実に持ち直している。  
 ◇公共投資は、一段と減少している。

＜財務省帯広財務事務所「とちか経済情報」平成27年11月＞  
 ◇管内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。  
 ◇公共事業を前払金保証請負金額でみると、道路や農業基盤等で発注が減少しており、前年度累計を大幅に下回っている。



## 景気対策事業の実施

十勝帯広の経済は、緩やかな回復基調にあるものの住宅建設や公共事業の減少など一部に弱さが見られ、依然として地域の隅々まで経済の好循環が実現されている状況にあるとは言えず、引き続き一定規模の公共事業や雇用対策事業が必要であると判断し、右の点に配慮しながら景気対策を実施するもの。

1. 国が掲げる「一億総活躍社会」の実現に向けた緊急施策に基づく事業等を積極的に活用しながら、地域経済の活性化、雇用の確保、受注機会の拡大のため、必要性の高い事業を拡充するとともに、事業者の規模に配慮した上で発注を行う。
2. 間断ない発注を行うため、前年度の3月補正予算において債務負担行為を設定し、工事の発注を前倒しするほか、冬期間における雇用の確保にも配慮する。
3. 環境モデル都市として、環境にもひとにもやさしい生活環境づくりを図る。



### 国の経済対策の活用 総額 841,257千円

- 【ソフト事業】  
 ○地方創生加速化交付金の活用 事業費：87,236千円  
 ・フードバレーとちか人材育成  
 ・十勝・イノベーション・エコシステム  
 ・アウトドアブランド化  
 ほか5事業  
 ○年金生活者等支援臨時福祉給付金 事業費：688,011千円

- 【ハード事業】  
 ○TPP関連政策大綱に基づく事業 事業費：6,210千円  
 ・農業基盤整備  
 ○下水道雨水管整備 事業費：59,800千円

(一部3月補正予算計上、繰越明許)

### 規模に配慮した発注 総額 611,443千円

- 【大規模】  
 ○生活基盤の整備 事業費：165,450千円  
 ・特殊舗装整備、オーバーレイ、側溝整備  
 ○公共施設の整備 事業費：118,884千円  
 ・(仮称)清流の里福祉センター  
 ○公共施設の安全対策 事業費：155,034千円  
 ・鉄南コミュニティセンター、緑ヶ丘児童保育センター
- 【中規模】  
 ○公共施設の改修 事業費：146,341千円  
 ・小中学校、南商業高校、以平農業センター など
- 【小規模】  
 ○小規模模範の活用 事業費：5,334千円  
 ・小中学校、コミュニティセンター など  
 ○交通安全標識設置 事業費：400千円  
 ○住まいの改修助成金 事業費：20,000千円

### 発注時期の配慮 総額 469,318千円

- 早期発注（債務負担行為設定） 事業費：446,100千円  
 ・生活道路整備、特殊舗装整備  
 配水管整備、下水道管渠整備  
 (大規模事業の再掲30,000千円)  
 ○冬期間の発注 事業費：23,218千円  
 ・河川木、街路樹の剪定 など

### 雇用の確保 総額 79,861千円

- 季節労働者対策 事業費：54,151千円  
 ・12事業、雇用人数 190人  
 (うち3事業23,218千円は冬期間の発注工事の再掲)  
 ○その他雇用対策 事業費：25,710千円

### 環境への配慮 総額 157,687千円

- 柏小学校トイレ改修 事業費：157,687千円